

令和 6 年 6 月 2 1 日

甲府市議会議長 坂 本 信 康 様

経済建設委員長 長 沼 達 彦

所 管 事 務 調 査 報 告 書

経済建設委員会におきまして、甲府市議会基本条例第 18 条第 4 項に基づき、所管事務調査及び政策研究のテーマを定め、調査・研究を進めてまいりました経過と結果について御報告いたします。

令和 5 年 7 月 24 日の委員会におきまして、人口減少やモータリゼーションの進展に伴う郊外化の進行により中心市街地の賑わいが薄れている現状を課題と捉え、今期の調査・研究テーマを「中心市街地の活性化について」と決定いたしました。

同年 8 月 25 日の委員会におきまして、当局から中心市街地の歴史や現状に加え、岡島百貨店跡地の再開発事業やまちなか出店トータルサポート事業等による、中心市街地の活性化に向けた取組について説明を受け、質疑を行い理解を深めました。

同年 11 月 10 日から 12 日までの日程で、愛知県豊田市、滋賀県長浜市、岐阜県大垣市・高山市への行政視察を実施し、ウォークブル推進都市として居心地が良く歩きたくなるまちなかを実現するための取組や、交流人口の増加に向けたパブリックスペースの活用に係る取組などについて調査を行いました。

同年 11 月 16 日の委員会におきましては、行政視察の調査結果を踏まえた委員間討議を行う中で、「人が集い、憩える施設があるとよいのではないか」、「中心市街地の住民の暮らしやすく、豊かな生活を追求することが重要ではないか」、「中心市街地に携わる方々と一緒にいろいろな案を出しながら市民ニーズに合わせたものを作ることが大切ではないか」といった意見がありました。

同年 11 月 28 日には「中心市街地の活性化について」をテーマとした甲府商店街連盟の方々と市民と議会の交流会において、「中心市街地に核となる施設等ができれば、周辺の商店にも足を運んでくれる方が増えるのではないか」、「植栽等によるきれいな景観づくりや、夜間も明るくすることにより、親子連れでも安心できる環境づくりが必要ではないか」など、中心市街地に携わる方々から貴重な意見をいただきました。

令和 6 年 2 月 9 日の委員会におきまして、行政視察と市民と議会の交流会の結果

を踏まえた委員間討議を行い、「行政や地域に住む人など様々な主体が参加する中で、未来に向かって共に協力できるまちづくりができるとよいのではないか」、「中心市街地の商店街や自治会の方々と定期的な意見交換を行う場の創出が必要ではないか」、「市外から甲府市に移り住んでもらい、新たに何か始めてみようと思ってもらえるよう、まちの魅力を創出することが必要ではないか」などのより具体的な意見が出されました。

同年３月８日の委員会では、これまでの議論を踏まえ、中心市街地の活性化には「魅力あるまちづくり」が必要であり、そのためには、「様々な主体との協力関係の構築」や「快適な環境の形成」が肝要であるとの認識を委員間で共有いたしました。

経済建設委員会といたしましては、「様々な主体との協力関係の構築」として、地域住民などと定期的な意見交換を行い、中心市街地が抱える諸課題を共有するなど、まちづくりを自分事として捉えられるよう意識の変容を促す取組を推進すること、「快適な環境の形成」として、訪れた誰もが歩きやすく、快適に安心して過ごすことができる緑あふれる空間や、気軽に利用できる憩える施設を整備することなど、様々な取組を通じて中心市街地に来てみたい、暮らしてみたいと思える「魅力あるまちづくり」を推進していくことが重要であると考えます。

当局におかれましては、本調査・研究の結果を参考としていただきながら、引き続き中心市街地の活性化に向けた取組を力強く推進されることを期待し、報告いたします。